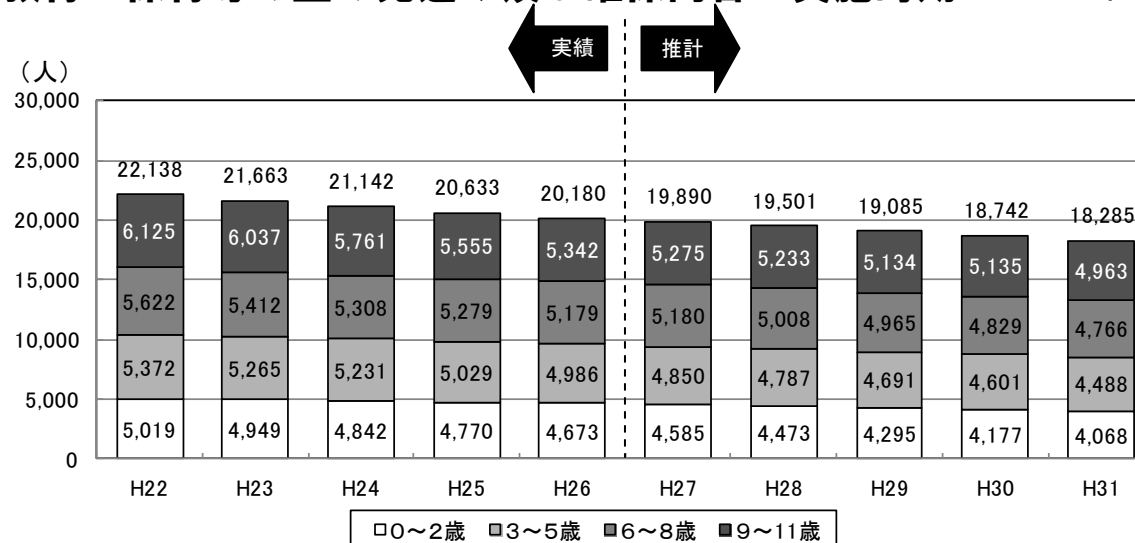


# 上越市子ども・子育て支援事業計画における教育・保育等の量の見込み及び確保内容・実施時期について

## 1 児童人口の推移と推計

本市全体の児童人口の推移をみると、平成 22 年から平成 26 年にかけて減少しています。平成 27 年からの推計でも減少していく見込みとなっており、平成 31 年には 18,285 人と、平成 22 年から平成 31 年の 10 年間で 3,853 人の減少となっています。



資料：平成 22 年～平成 26 年実績…住民基本台帳・外国人登録台帳（各年 4 月 1 日）  
平成 27 年～平成 31 年推計…コーホート変化率法により算出

	実績(人)					推計(人)				
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	1,578	1,634	1,548	1,512	1,539	1,442	1,402	1,365	1,328	1,296
1歳	1,702	1,618	1,672	1,579	1,561	1,589	1,489	1,447	1,408	1,370
2歳	1,739	1,697	1,622	1,679	1,573	1,554	1,582	1,483	1,441	1,402
3歳	1,825	1,729	1,696	1,614	1,675	1,570	1,551	1,579	1,480	1,438
4歳	1,706	1,833	1,726	1,703	1,611	1,672	1,567	1,548	1,576	1,477
5歳	1,841	1,703	1,809	1,712	1,700	1,608	1,669	1,564	1,545	1,573
6歳	1,821	1,824	1,690	1,776	1,708	1,696	1,604	1,665	1,560	1,541
7歳	1,787	1,818	1,810	1,695	1,776	1,708	1,696	1,604	1,665	1,560
8歳	2,014	1,770	1,808	1,808	1,695	1,776	1,708	1,696	1,604	1,665
9歳	2,031	2,004	1,749	1,807	1,796	1,684	1,765	1,697	1,685	1,593
10歳	2,015	2,023	2,006	1,748	1,804	1,793	1,681	1,762	1,694	1,682
11歳	2,079	2,010	2,006	2,000	1,742	1,798	1,787	1,675	1,756	1,688
合計	22,138	21,663	21,142	20,633	20,180	19,890	19,501	19,085	18,742	18,285

## 2 教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保内容・実施時期について

### (1)教育【1号認定、2号認定(3歳以上児)】

#### <量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
1,505	1,502	1,490	1,419	1,391	量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	1,308	1,291	1,265	1,240	1,210
					1号認定	702	693	679	666	650
					2号認定	606	598	586	574	560
					①量の見込み【補正後】	1,373	1,355	1,328	1,302	1,270
					1号認定	737	728	713	699	682
					2号認定	636	627	615	603	588
					②確保の内容	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
					②-①	307	325	352	378	410

#### ①量の見込みの補正の考え方

実績では、減少傾向にあり、推計の【当初】欄でも減少傾向にある。しかし、H26年実績とH27年推計の乖離が大きいため、補正。

【補正後】欄は、H27年以降の推計人口に、過去5年(H22～H26)の平均就園率(28.3%)を乗じて算出。1号、2号の内訳については、【当初】欄における1号と2号の按分率(53.7:46.3)により算出。

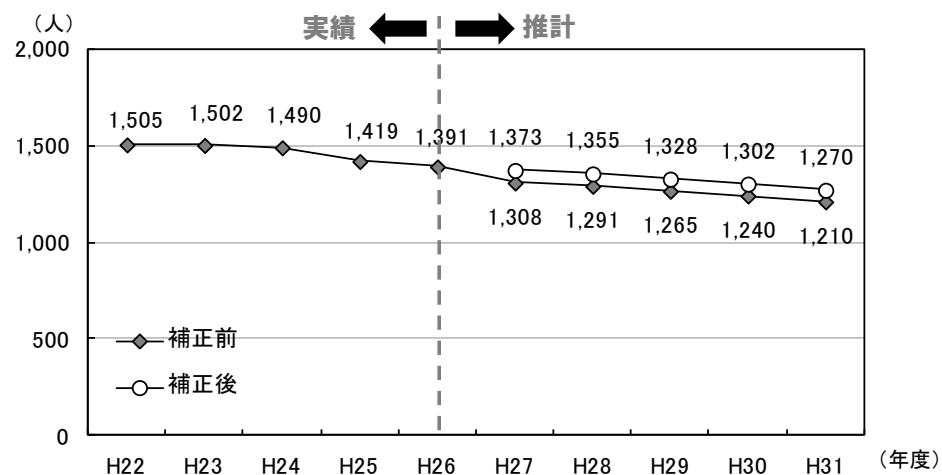
#### ②確保の内容の方向性

平成27年以降に、幼稚園から認定こども園へ移行する動向は確定していませんが、現段階では平成27年には、1,680人の受入体制が見込まれています。補正後の量の見込みに対し、不足がないことからH27～H31の5年間は、1,680人を確保の内容とします。

#### ③区域の設定について

幼稚園と認定こども園は、合併前上越市の区域に集中しており、現在でも受入は、市域全体を対象としていることから、区域は1つ(全市域)で検討しています。

#### 1号・2号(3歳以上)



## (2) 保育【3号認定(0歳児)】

### < 量の見込み及び確保内容・実施時期 >

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
151	180	222	201	223	量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	466	453	441	429	419
					①量の見込み【補正後】	226	238	248	258	267
					②確保の内容	343	343	343	343	343
					②-①	117	105	95	85	76

#### ①量の見込みの補正の考え方

実績では、上昇傾向にあるが、推計の【当初】欄では減少傾向にあり、また、H26年実績とH27年推計の乖離が大きいので、補正。

【補正後】欄は、H27年以降の推計人口にH26年の就園率(14.5%)をベースに過去5年(H22~H26)の就園率の平均増加率(1.2%)を加味して算出。

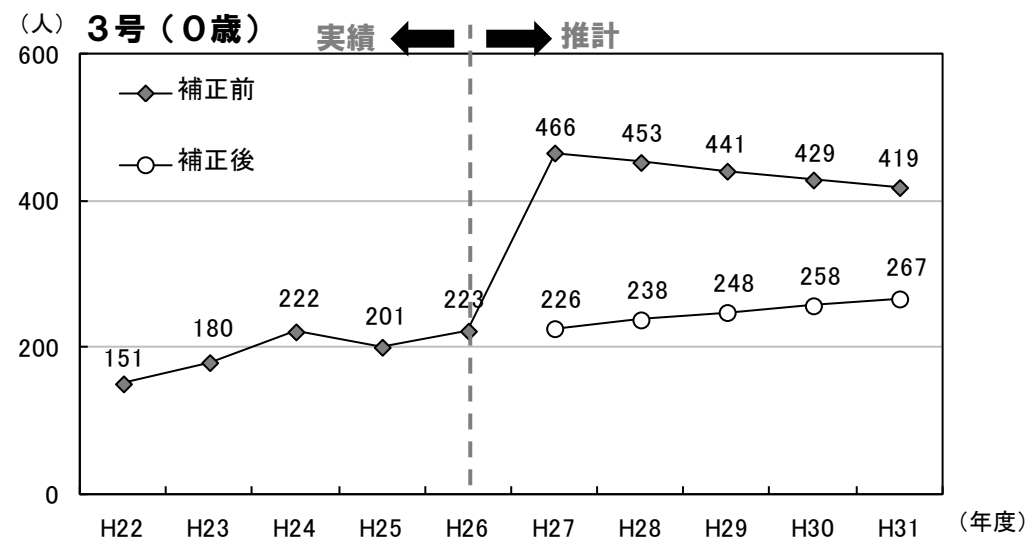
#### ②確保の内容の方向性

0歳の保育ニーズについて、対象人口は減少しているものの、就園率は年々上昇しており、今後も上昇傾向が見込まれます。

平成27年には、343人の受入体制が見込まれ、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27~H31の5年間は、343人を確保の内容とします。

#### ③区域の設定について

0歳児の受入体制は、市内全域に整備されており、利用実態は旧市町村の区域単位でまとまっている傾向にあることから、旧市町村の区域を単位とした14区域を検討しています。



### (3) 保育【3号認定(1歳児)】

#### <量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
562	562	620	640	646	量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	411	385	375	365	355
					①量の見込み【補正後】	691	679	690	701	711
					②確保の内容	677	677	677	677	677
					②-①	▲14	▲2	▲13	▲24	▲34

#### ①量の見込みの補正の考え方

実績では、上昇傾向にあるが、推計の【当初】欄では減少傾向にあり、また、H26年実績とH27年推計の乖離が大きいため、補正。

【補正後】欄は、H27年以降の推計人口にH26年の就園率(41.4%)をベースに過去5年(H22~H26)の就園率の平均増加率(2.1%)を加味して算出。

#### ②確保の内容の方向性

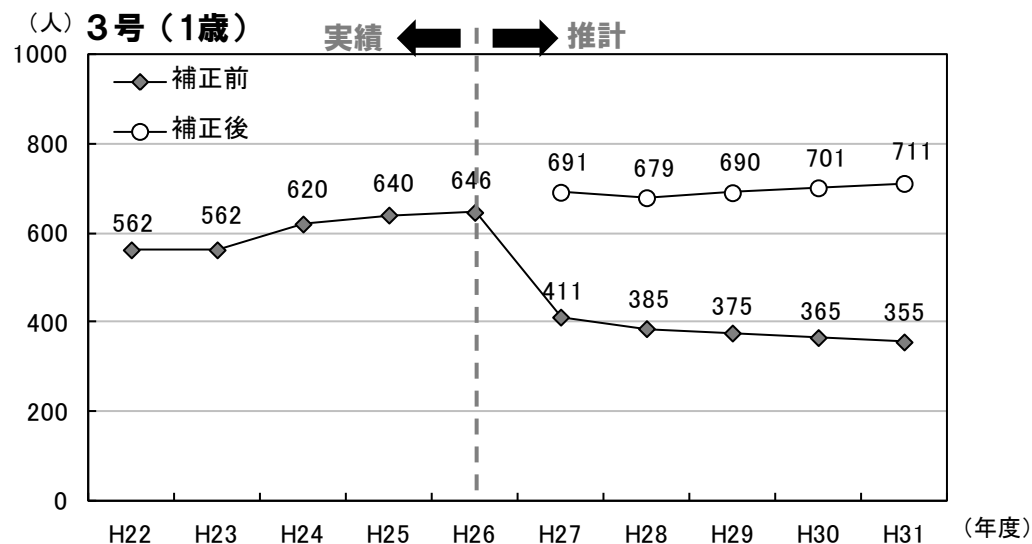
1歳の保育ニーズについて、対象人口は減少しているものの、就園率は年々上昇しており、今後も上昇傾向が見込まれます。平成27年には、677人の受入体制が見込まれます。

補正後の量の見込みに対して不足していますが、当市ではほとんどの保育園で0-1歳児を一緒に保育していることから、0-1歳児をあわせた量の見込みと確保の内容では不足がありません。

(参考) 参照

#### ③区域の設定について

1歳児の受入体制は、市内全域に整備されており、利用実態は旧市町村の区域単位でまとまっている傾向にあることから、旧市町村の区域を単位とした14区域を検討しています。



#### (参考)0-1歳児の計

	H27	H28	H29	H30	H31
①量の見込み【補正後】	917	917	938	959	978
②確保の内容	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020
②-①	103	103	82	61	42

#### (4) 保育【3号認定(2歳児)】

##### < 量の見込み及び確保内容・実施時期 >

実績(人)					推計(人)						
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31	
796	845	818	867	855	量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	446	454	425	413	402	
						①量の見込み【補正後】	880	930	905	911	917
						②確保の内容	948	948	948	948	948
						②-①	68	18	43	37	31

##### ①量の見込みの補正の考え方

実績では、上昇傾向にあるが、推計の【当初】欄では減少傾向にあり、また、H26年実績とH27年推計の乖離が大きいため、補正。

【補正後】欄は、H27年以降の推計人口にH26年の就園率(54.4%)をベースに過去5年(H22~H26)の就園率の平均増加率(2.2%)を加味して算出。

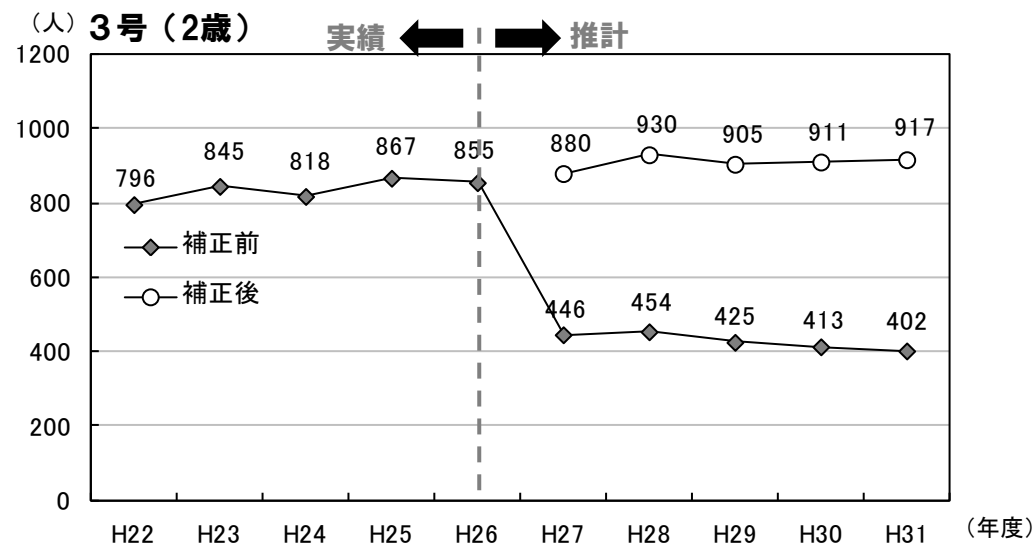
##### ②確保の内容の方向性

2歳の保育ニーズについて、対象人口は減少しているものの、就園率は年々上昇しており、今後も上昇傾向が見込まれます。

平成27年には、948人の受入体制が見込まれ、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27~H31の5年間は、948人を確保の内容とします。

##### ③区域の設定について

2歳児の受入体制は、市内全域に整備されており、利用実態は旧市町村の区域単位でまとまっている傾向にあることから、旧市町村の区域を単位とした14区域を検討しています。



## (5) 保育【2号認定(3歳以上児)】

### < 量の見込み及び確保内容・実施時期 >

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
3,682	3,577	3,603	3,494	3,485	量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	3,135	3,094	3,032	2,974	2,901
					①量の見込み【補正後】	3,390	3,346	3,279	3,216	3,137
					②確保の内容	3,728	3,728	3,728	3,728	3,728
					②-①	338	382	449	512	591

#### ①量の見込みの補正の考え方

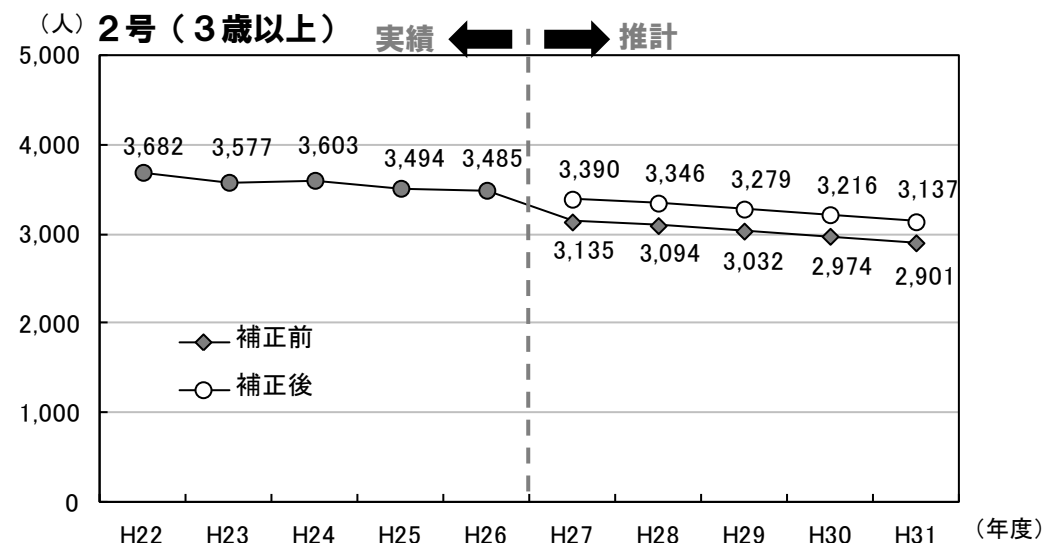
実績では、減少傾向にあり、推計の【当初】欄でも減少傾向にある。しかし、H26年実績とH27年推計の乖離が大きいため、補正。  
【補正後】欄は、H27年以降の推計人口に過去5年(H22~H26)の平均就園率(69.9%)を乗じて算出。

#### ②確保の内容の方向性

平成27年には、3,728人の受入体制が見込まれ、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27~H31の5年間は、3,728人を確保の内容とします。

#### ③区域の設定について

保育園は市内全域に整備されており、利用実態は旧市町村の区域単位でまとまっている傾向にあることから、旧市町村の区域を単位とした14区域を検討しています。



### 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び提供体制の確保内容・実施時期について

(1)時間外保育事業(延長保育事業)・・・保育認定を受けた子どもについて、通常の保育日及び保育時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育園等において保育を実施する事業。

#### <量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
		1,618	1,607		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	207	203	197	193	188
					①量の見込み【補正後】	1,510	1,482	1,438	1,404	1,369
					②確保の内容	1,618	1,618	1,618	1,618	1,618
					②-①	108	136	180	214	249

#### ①量の見込みの補正の考え方

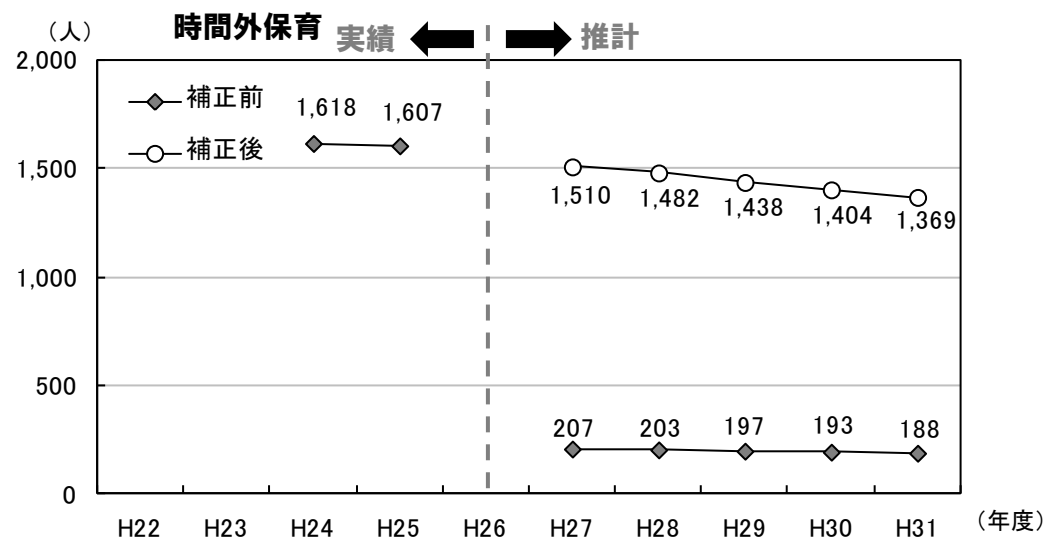
実績と推計の乖離が大きいため、補正。ニーズ調査では、平日の定期的な保育利用時間又は希望時間を聞いており、単発的な延長保育のニーズは把握しきれていないことから、【補正後】欄は、H24とH25の平均利用率(16%)をH27年以降の推計人口に乗じて算出。

#### ②確保の内容の方向性

実績の最大受入数は1,618人で、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27～H31の5年間は、1,618人を確保の内容とします。

#### ③区域の設定について

保育園は市内全域に整備されており、利用実態は旧市町村の区域単位でまとまっている傾向にあることから、旧市町村の区域を単位とした14区域を検討しています。



(2) 放課後児童健全育成事業【放課後児童クラブ】・・・ 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。

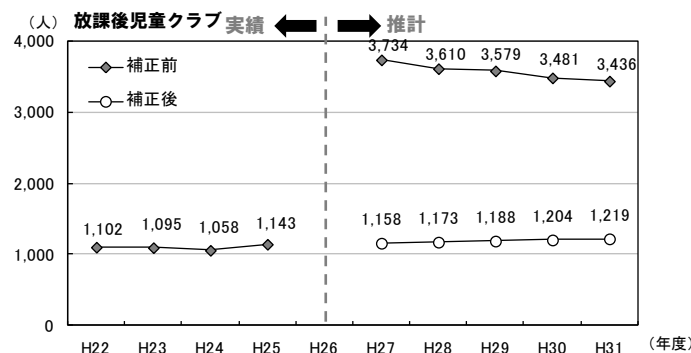
### 【放課後児童クラブ(低学年)】

#### <量の見込み>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
1,102	1,095	1,058	1,143		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	3,734	3,610	3,579	3,481	3,436
					①量の見込み【補正後】	1,158	1,173	1,188	1,204	1,219

#### ①量の見込みの補正の考え方

実績と推計の乖離が大きいため、補正。ニーズ調査では就学前5歳児を対象にしており、ニーズはあるが実際に就学後使用するかは不明確であるため、【補正後】欄は、過去4年(H22~H25)の平均増加率(1.3%)を前年の数に乗じて算出。



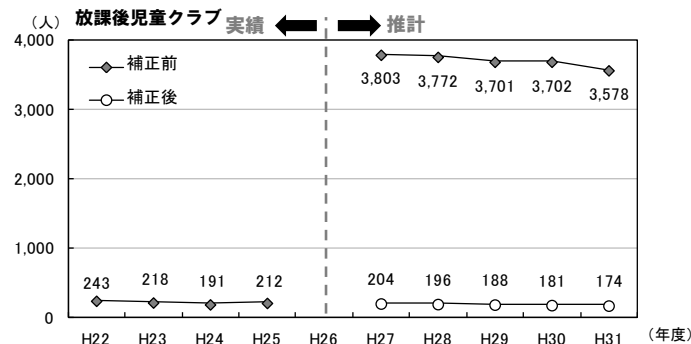
### 【放課後児童クラブ(高学年)】

#### <量の見込み>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
243	218	191	212		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	3,803	3,772	3,701	3,702	3,578
					①量の見込み【補正後】	204	196	188	181	174

#### ①量の見込みの補正の考え方

実績と推計の乖離が大きいため、補正。ニーズ調査では就学前5歳児を対象にしており、ニーズはあるが実際に就学後使用するかは不明確であるため、【補正後】欄は、過去4年(H22~H25)の平均減少率(▲3.9%)を前年の数に乗じて算出。





## 【放課後児童クラブ(全体)】

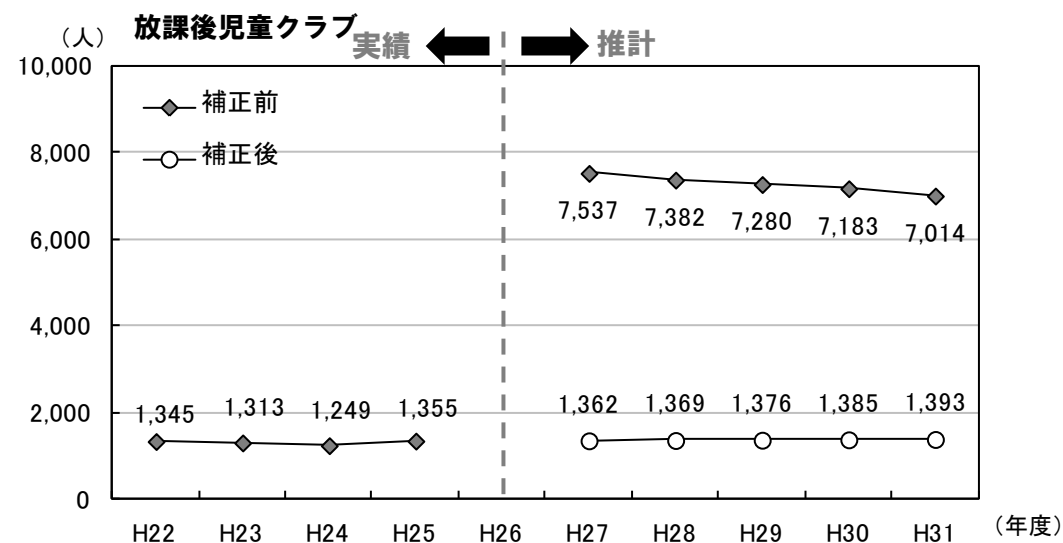
実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
1,345	1,313	1,249	1,355		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	7,537	7,382	7,280	7,183	7,014
					①量の見込み【補正後】	1,362	1,369	1,376	1,385	1,393
					②確保の内容	1,925	1,925	1,925	1,925	1,925
					②-①	563	556	549	540	532

### ②確保の内容の方向性

現在、低学年・高学年あわせて1,925人の受入体制が整備されており、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27～H31の5年間は、1,925人を確保の内容とします。

### ③区域の設定について

本事業は、現在ほぼ市立小学校を単位として設置していることから、小学校区を念頭に区域を検討しています。



(3)地域子育て支援拠点事業(こどもセンター、子育てひろば)・・・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
353	391	398	402		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	84	82	79	77	75
					①量の見込み【補正後】	418	435	452	470	489
					②確保の内容 (開設箇所数)	26か所	26か所	26か所	26か所	26か所

①量の見込みの補正の考え方

実績と推計との乖離が大きいため、補正。子育てひろば等は、主に未就園児を対象としているが、ニーズ調査では3歳未満児を対象に行ったため、実態を反映していない結果になったことから、【補正後】欄は、過去4年(H22~H25)の平均増加率(4.0%)を前年の数に乗じて算出。

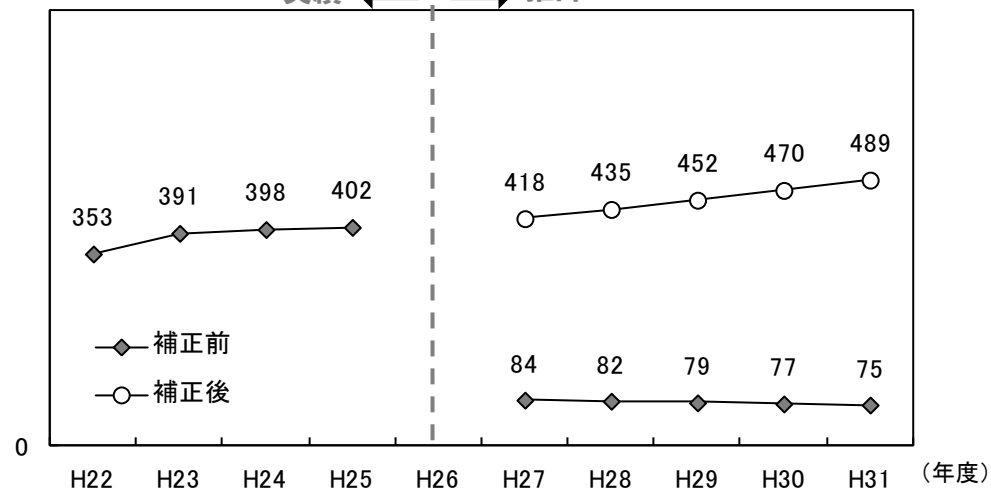
②確保の内容の方向性

※国の手引きでは、開設箇所数を記載することとされています。こどもセンターと子育てひろばには、利用定員を設けていませんが、H31の489人/日を想定しても現状の施設数で対応が可能であるため、現在の施設数26か所を確保の内容とします。

③区域の設定について

現在、移動子育てひろばを含め中学校区単位で最低1か所の設置を進めていることから、中学校区を念頭に区域を検討しています。

(人) 地域子育て支援拠点事業実績 ← 推計



(4)-1 一時預かり事業【幼稚園在園児⇒1号認定、2号認定】・・・ 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主に昼間に認定こども園、幼稚園、保育園、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業。

< 量の見込み及び確保内容・実施時期 >

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
264	270	290	313		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	626	618	606	594	580
					1号認定	32	32	31	31	30
					2号認定	594	586	575	563	550
					①量の見込み【補正後】	331	350	370	392	415
					1号認定	17	18	19	20	22
					2号認定	314	332	351	372	393
					②確保の内容	331	350	370	392	415
					②-①	0	0	0	0	0

①量の見込みの補正の考え方

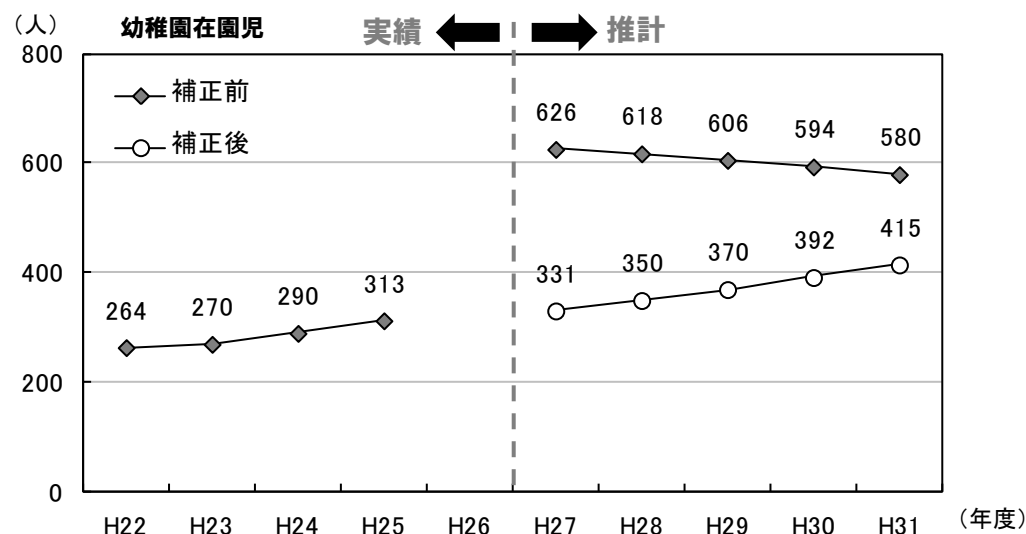
実績と推計の乖離が大きいので、補正。国の推計の手引きでは、2号認定者の量の見込みは、当該希望者の就労日数を用いることとされたため、推計の【当初】欄の2号認定の見込みが多くなり、実態を反映しない結果となったことから、【補正後】欄は、過去4年(H22～H25)の平均増加率(5.8%)を前年の数に乗じて算出。  
1号、2号の内訳については、【当初】欄における1号と2号按分率(5.2:94.8)により算出。

②確保の内容の方向性

各幼稚園では利用定員を設けておらず、利用希望数に応じて受入体制を整えることとしているため、補正後の見込み数と同数を確保の内容とします。

③区域の設定について

幼稚園は、合併前上越市の区域に集中しており、現在でも受入は、市域全体を対象としていることから、区域は1つ(全市域)で検討しています。



(4)-2 一時預かり事業【一時預かり(ファミリーヘルプ保育園を含む)・ファミリーサポートセンター(未就学児)】

…(4)-1と同じ。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
50	46	48	47		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	217	213	206	201	196
					①量の見込み【補正後】	50	50	50	50	50
					②確保の内容	50	50	50	50	50
					②-①	0	0	0	0	0

①量の見込みの補正の考え方

実績と推計の乖離が大きいため、補正。ニーズ調査では、全ての家庭を対象として、複数回答形式で広く一時預かりの利用の希望を問うたため、実態を反映していない結果になった。

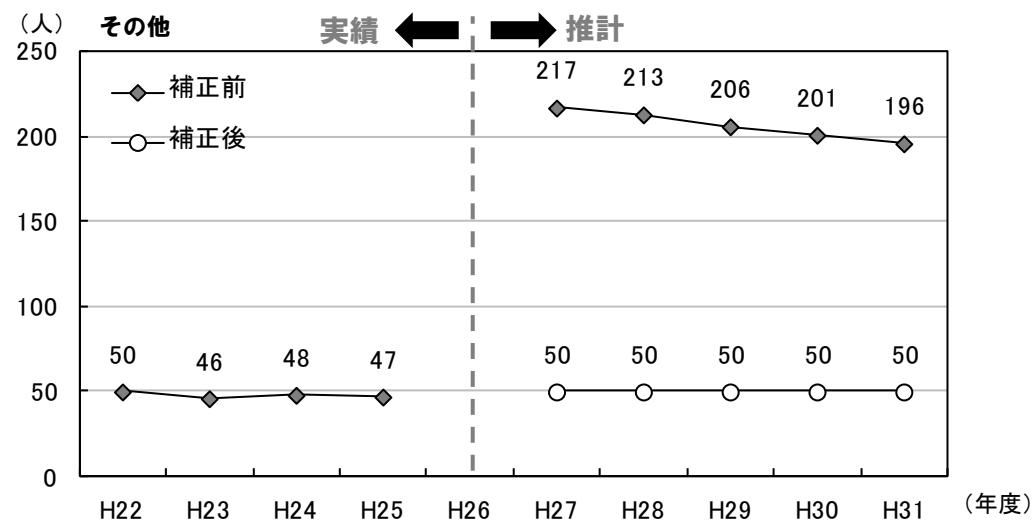
【補正後】欄は、H27～H31の推計人口が減少していることから、大幅な増加は見込めないため、過去の最大値であるH22実績を各年の量の見込みとした。

②確保の内容の方向性

補正後の量の見込みと同様、実績の最大値をH27～H31の確保の内容とします。

③区域の設定について

本事業は市内全区域には整備されていないため、区域は1つ(全市域)で検討しています。



(5) 病児保育事業・・・ 病児について、病院・保育園等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業。

< 量の見込み及び確保内容・実施時期 >

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
14	15	13	17		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	46	45	44	43	42
					①量の見込み【補正後】	18	19	20	22	24
					②確保の内容	40	40	40	40	40
					②-①	22	21	19	18	16

①量の見込みの補正の考え方

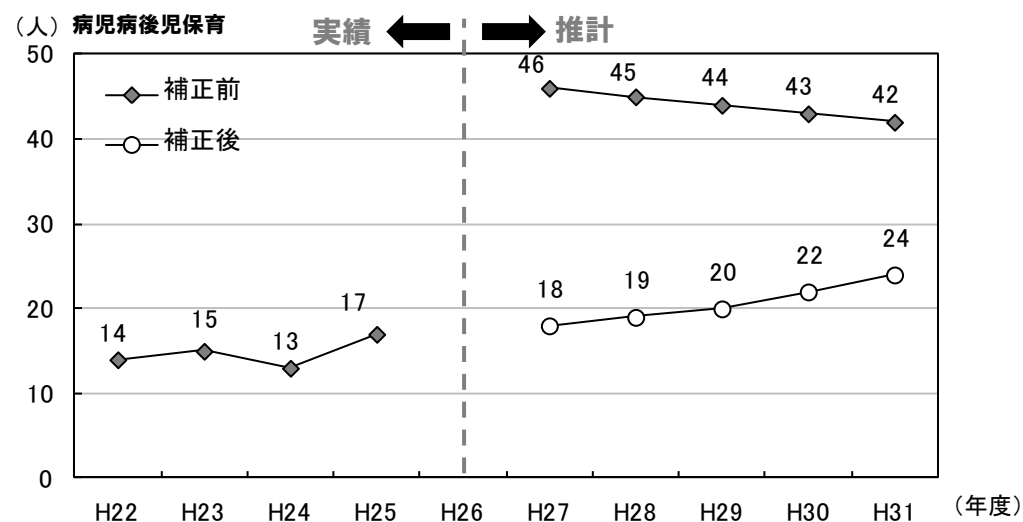
実績と推計との乖離が大きいため、補正。ニーズ調査では、複数回答形式で広く病児保育の利用の希望を問うたため、実態を反映していない結果となったことから、【補正後】欄は、過去4年（H22～H25）の平均増加率（7.5%）を前年の数に乗じて算出。

②確保の内容の方向性

現状の受入定員数は40人/日で、補正後の量の見込みに対し不足が出ないことから、H27からH31の5年間は40人/日を確保の内容とします。

③区域の設定について

本事業は、合併前上越市の区域にしかありませんが、事業実施施設や人員、協力医療機関の確保が難しく、旧13町村の区域での整備が困難です。また、現在、受入定員数も十分確保されていることから、区域は1つ（全市域）で検討しています。



(6) 子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター(就学後)】・・・

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、「児童の預かり等の援助を受けることを希望する者」と「当該援助を行うことを希望する者」との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人/日)					推計(人/日)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
6	4	3	3		量の見込み【当初】 (国の手引きで算出)	0	0	0	0	0
					①量の見込み【補正後】	3	3	3	3	3
					②確保の内容	152	152	152	152	152
					②-①	149	149	149	149	149

①量の見込みの補正の考え方

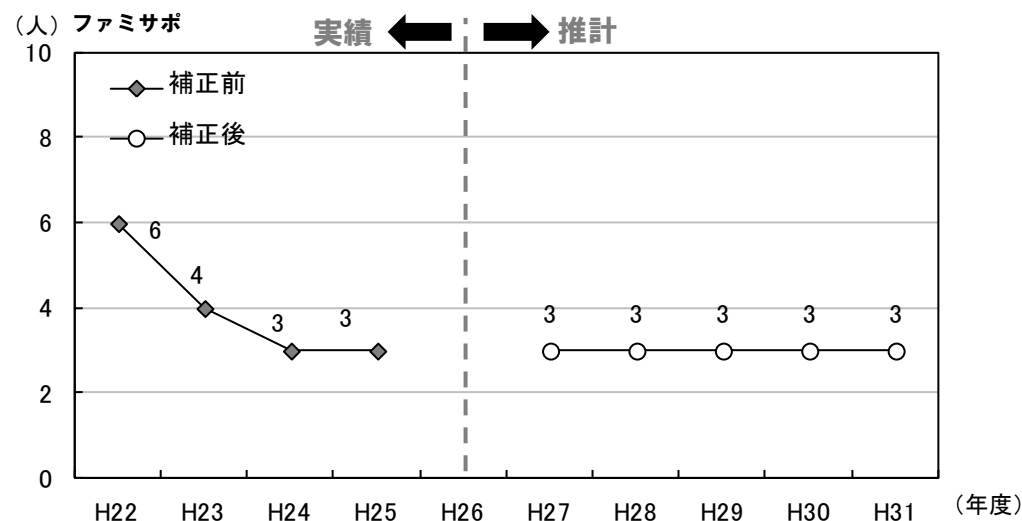
ニーズ調査では、就学後の支援のニーズ動向を把握するため、就学前5歳児を対象とした設問の選択肢の一つに当該事業を位置づけたが、事業内容のイメージを持ちづらい等の理由から「0」で算出されていると考えられる。【補正後】欄では、実績は減少傾向にあるため、H25の実績を用い横ばいで推移すると想定。

②確保の内容の方向性

現在、152人/日(提供会員数)の受入体制が確保されており、補正後の量の見込みに対し、不足が出ないことからH27~H31の5年間は152人/日を確保の内容とします。

③区域の設定について

本事業は市内全域を対象に会員制で運営しており、区域は1つ(全市域)で検討しています。



(7)利用者支援事業……………子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(箇所数)					推計(箇所数)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
				1	量の見込み (国の手引きで算出)					
					①量の見込み	1	1	1	1	1
					②確保の内容	1	1	1	1	1
					②-①	0	0	0	0	0

①量の見込み

ニーズ調査の対象外であり、当該事業の量の見込みは算出できないため、現状の箇所数を記載。

③区域の設定について

本事業は市内全域には整備されていないため、区域は1つ(全市域)で検討しています。

②確保の内容の方向性

平成26年からこどもセンターで実施しており、H27~H31も事業を継続することとします。

(8)乳児家庭全戸訪問事業…………… 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
1,521	1,467	1,462	1,524		量の見込み (国の手引きで算出)					
					①量の見込み	1,442	1,402	1,365	1,328	1,296
					②確保の内容	実施体 制：依頼助 産師 14 人(上越助 産師会)、 依頼保健 師 4 人	実施体 制：依頼助 産師 14 人(上越助 産師会)、 依頼保健 師 4 人	実施体 制：依頼助 産師 14 人(上越助 産師会)、 依頼保健 師 4 人	実施体 制：依頼助 産師 14 人(上越助 産師会)、 依頼保健 師 4 人	実施体 制：依頼助 産師 14 人(上越助 産師会)、 依頼保健 師 4 人

①量の見込み

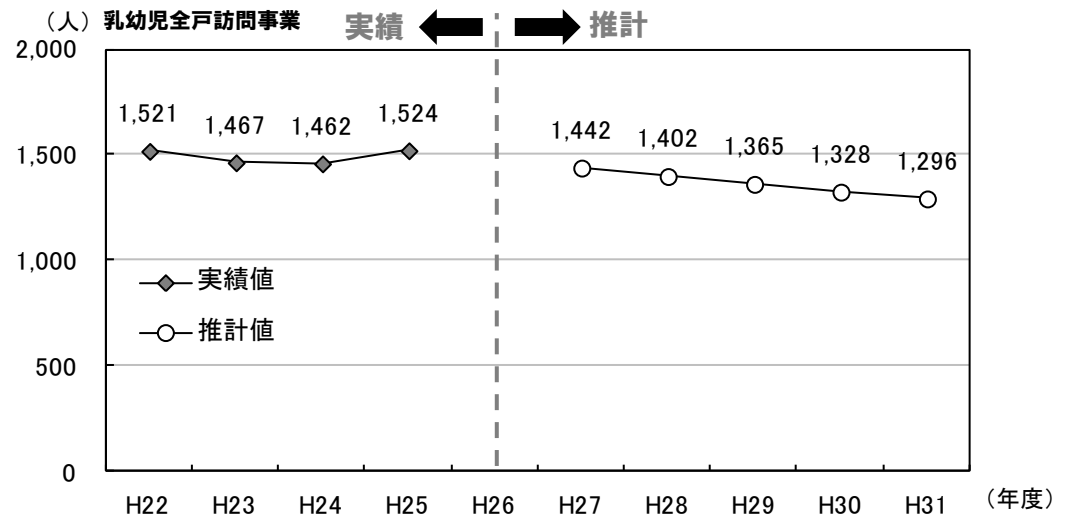
ニーズ調査の対象外であり、当該事業の量の見込みは算出できないため、各年推計人口（0歳時人口）を量の見込みとしています。

②確保の内容の方向性

量の見込みに対応できる体制等を確保の内容とします。

③区域の設定について

複数の助産師等が市内全域の訪問依頼に対応しているため、区域は1つ（全市域）で検討しています。





(9) 養育支援訪問事業(産前・産後ヘルパー派遣事業)・・・産前・産後の体調不良のため、家事や育児が困難な家庭及び多胎児を出した家庭に対して、安心して妊娠期や産後を迎えられるよう、ホームヘルパーを派遣する事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人)					推計(人)					
H22	H23	H24	H25	H26		H27	H28	H29	H30	H31
24	14	23	34		量の見込み (国の手引きで算出)					
					①量の見込み	34	34	34	34	34
					②確保の内容	委託事業 所:市内5 事業所	委託事業 所:市内5 事業所	委託事業 所:市内5 事業所	委託事業 所:市内5 事業所	委託事業 所:市内5 事業所

①量の見込み

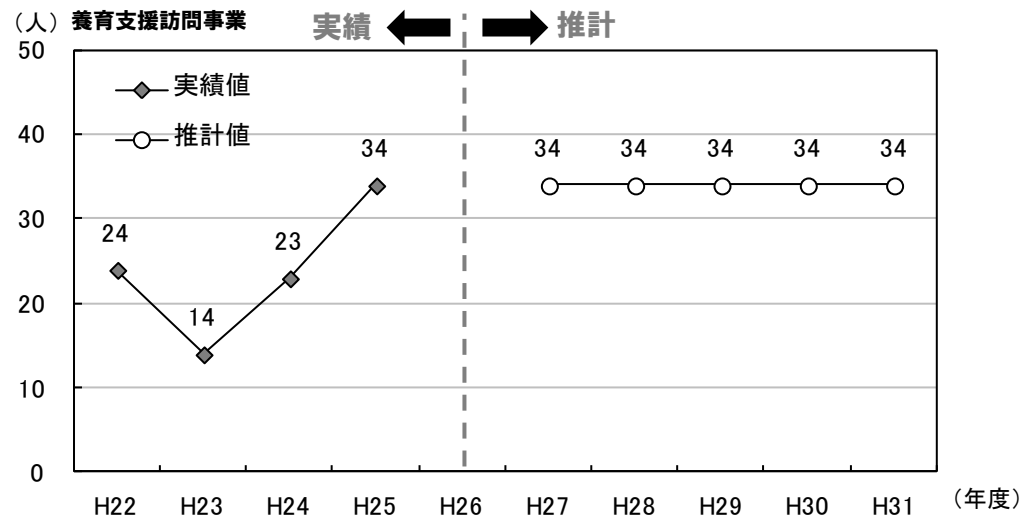
ニーズ調査の対象外であり、当該事業の量の見込みは算出できないため、H25の実績を用い横ばいで推移すると想定。

②確保の内容の方向性

量の見込みに対応できる体制等を確保の内容とします。

③区域の設定について

現在、5事業所が市内全域の派遣依頼に対応しているため、区域は1つ(全市域)で検討しています。



(10) 妊婦健康診査(妊婦一般健康診査等事業)・・・妊婦一般健康診査費用 14 回分を公費負担することにより、積極的な受診を勧奨し、安心して妊娠・出産を迎えられるよう支援を行う事業。

<量の見込み及び確保内容・実施時期>

実績(人)					推計(人)				
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
1,460	1,432	1,477	1,441						
量の見込み (国の手引きで算出)									
①量の見込み					1,402 人 健診回数 19,628 回	1,365 人 健診回数 19,110 回	1,328 人 健診回数 18,592 回	1,296 人 健診回数 18,144 回	1,269 人 健診回数 17,766 回
②確保の内容					実施場所： 県内委託医療機 関及び助産所 (市内委託医療 機関 6 か所、助 産所 1 か所)  検査項目及び実 施時期： 県が示す基準に 準ずる	実施場所： 県内委託医療機 関及び助産所 (市内委託医療 機関 6 か所、助 産所 1 か所)  検査項目及び実 施時期： 県が示す基準に 準ずる	実施場所： 県内委託医療機 関及び助産所 (市内委託医療 機関 6 か所、助 産所 1 か所)  検査項目及び実 施時期： 県が示す基準に 準ずる	実施場所： 県内委託医療機 関及び助産所 (市内委託医療 機関 6 か所、助 産所 1 か所)  検査項目及び実 施時期： 県が示す基準に 準ずる	実施場所： 県内委託医療機 関及び助産所 (市内委託医療 機関 6 か所、助 産所 1 か所)  検査項目及び実 施時期： 県が示す基準に 準ずる

①量の見込み

二一ズ調査の対象外であり、当該事業の量の見込みは算出できないため、推計人口から翌年の0歳児人口を妊婦の人数として見込み、これに健診回数 14 回を乗じて算出。

②確保の内容の方向性

量の見込みに対応できる体制等を確保の内容とします。

③区域の設定について

妊婦健診は個別に医療機関で受診することから、区域は1つ(全市域)で検討しています。

